

平成 27 年度 第 2 回香川県立図書館協議会 議事録

日 時 平成 28 年 3 月 10 日 13 : 30 ~ 15 : 00

場 所 香川県立図書館 研修室

出席者 荒谷委員、岡委員、小川委員、清國委員、久保田委員、本多委員
山本委員、渡邊委員

欠 席 大西委員 伊賀委員

1. 開会

館長挨拶

議長挨拶

2. 議事

(1) 平成 28 年度予算・事業計画（案）について

- ・事務局より平成 28 年度予算・事業計画（案）について説明
- ・承認
- ・質疑については、下記の通り

委 員：予算案について伺いたい。資料の購入・充実とあるが、この金額で何冊程度の購入になるのか。

事 務 局：平成 26 年度は 25,200 冊である。

委 員：資料とは、具体的にどういったものか。

事 務 局：図書、雑誌、新聞、AV 資料では、CD・DVD・マイクロフィルム・デジタ
資料などがある。

委 員：施設設備整備事業で H28 年度は、PC 室のエアコンの修繕などあるが、館内
の照明を LED に変更する等はないのか。

事 務 局：今のところ LED 化する予定はない。閲覧室は、ワンフロアで明るい造りに
なっている。エントランスは、天気のいい日は節電の意味もあって点灯して
いないが、冬場の暗い時期や雨天の場合は、半分くらい点灯している。

委 員：H27 年度に作成し、市・町図書館に配布していただいた読書通帳は、大変助
かっており利用者にも好評である。大人の利用者の方からも自分が読んだ読
書記録を残しておきたいといった声が多く、すでに当館の読書通帳はなくな
ってしまっている。市町への配布について H28 年度もご協力いただけたらと
思う。

また、児童・生徒には、読書通帳がいっぱいになればしおりを配布している

と伺った。一般の方にも配布しているのか。

事務局：しおりは、児童・生徒の方を対象にしている。

通帳のデザインは、高松工芸高校の生徒にご協力いただいて3種類作成した。大変好評で、今年度増刷もした。来年度も配布する予定にしている。この読書通帳については、読書通帳を作成していない図書館を対象に、県の読書通帳を配布していただけないかと照会し、配布をお願いした。継続して配布できればよいが、予算の都合もある。インターネットから簡易版をダウンロードできるようになっているので、市・町の図書館にはそちらをご利用いただきたい。増刷経費が潤沢であればいいのだが、なかなか厳しいのでご理解いただけたらと思う。

委員：ボランティアによる活動について伺いたい。H27年度は何人くらいの参加者がいたのか。

事務局：だいたい30～40名くらいの参加人数だ。1Fの児童資料コーナーの中の親子読書コーナーで行っている。

委員：だいたい予定人数が集まっているのか。

事務局：集まっている。

委員：非常にいい活動だと思う。

委員：参加者が30～40人であって、ボランティアの方の参加人数というのではないのか。

事務局：ボランティアの方の参加人数ではない。

委員：ボランティアはかなり登録されているのか。

事務局：各ボランティア団体で人数が異なっているが、図書館で常時把握していない。

委員：盲学校や聾学校への団体貸出は行われているのか。

事務局：団体貸出としては、登録がない。

委員：学校の関連で知り合いの子供さんがいるのだが、読み聞かせに取組んでほしいという要望があった。まんのう町では、小学校で震災のことが書かれた絵本を全校生に体育館で読み聞かせを行い、子供たちに改めて震災の大変さや命の大切さを考えてもらうことができたということだった。教頭先生が読み聞かせを行ったそうだが、身近な人が読み聞かせるという“声”も大切なのではないかと思う。

委員：今香川県の課題の1つに、児童・生徒の成人病がある。他県では行っていないが、香川県でデータを取ると血糖値が高いなど成人病予備軍がいるようだ。一方で、香川県は希少糖研究を行っており、香川大学も深く関わっている。県民の方にも広く希少糖について知ってもらいたい。商品化も行われ、希少糖を摂取するとブドウ糖の摂取が抑えられるという結果も出てきている。香川県ならではの取組ということで、是非取り上げていただければありがたいし、特徴が出せるのではないかと思う。

事務局：食育の中で食べ物の展示を行っているが、希少糖に特化したような専門的な

ものは、これまで行ったことはないが、今後専門の方のご意見を伺いながらできればと思う。

委員：木守文庫は、各学校から要望が高い。

事務局：H27年度から、ご要望もあり同時に貸出できるセット数を1校につき1セットから2セットに変更した。1セット40冊の図書を2セットまで貸出することができる。

委員：高校生によるブックハンティングについて伺いたい。高校生はベストセラーの中から本を選ぶのか。

事務局：夏目漱石を選んでいる子もいる。自分の好きな本や人気のある作品を選んだりバラエティに富んでいる。

委員：今年で2回目だと思うが、ヤングジェネレーションコーナーに高校生の選んだ本を配架することによって、高校生の来館者数は増加したのか。

事務局：数字はわからない。

委員：今回10名程度の参加者数だが、参加者を募る案内はどのあたりまで行ったのか。

事務局：県内全ての高等学校に対して行った。

委員：最も遠くからの参加は学校としてはどのあたりからか。

事務局：坂出高校の生徒が参加した。

委員：ミニ展示について記載されているページがあるが、これは全て場所・内容とにも違うのか。

事務局：全て違う。年間を通して行う予定のミニ展示は、閲覧室の返却カウンター近くで、県のイベントやオリンピックなどをとらえて、関連書籍をご紹介できればと思い、今回初めて行う。中・高校生等への読書支援に記載しているミニ展示は、Young Generation コーナー、健やか生活応援事業のミニ展示は、健やか生活応援コーナーというように、各コーナーで展示している。

(2) 平成27年度度運営状況について

- ・事務局より平成27年度運営状況（案）について説明
- ・承認
- ・質疑については、下記の通り

委員：資料を見ると、35～40歳くらいの方が多く登録されていて、子育て支援のコーナーから資料を借りられているのかと思われる。今後も資料を充実してほしい。

委員：職員研修について。H27年度は文部科学省の主催による地区別研修があり、当館からも職員を参加させ大変勉強になった。H28年度も初任者研修、香川県図書館大会があると伺った。県内の図書館職員の資質の向上を図る取組みを、これからも引き続き行って、県立図書館の専門知識を各市・町に伝えて

いってほしい。

委員：先日行われたコンサートを友人が聴きにきた。その時の感想は、すごく良かったということだった。H28年度も継続していただけないか。

事務局：この図書館コンサートは、昨年度 20 周年事業として子供向けのものを行った。今年度も引き続き、6 月 27 日に子供向けの図書館コンサートを行った。参加者は、165 名と非常に多くの方に集まっていた。今年の 3 月 6 日行われたコンサートは、中学生以上を対象として、金管の九重奏を聴いていただいた。参加者の方からは、引き続き行ってほしいという要望があったので、喜んでいただけたと思っている。ただボランティアの方をお願いしているので、その方々のご都合もある。演奏していただいた時の話では、またやりたいということだったので、是非実現できるように調整できればと思っている。

委員：対面朗読についてお聞きしたい。もし対面朗読を利用したいということになった場合、事前に連絡すればボランティアの方との調整は、図書館の方で行っていただけるのか。

事務局：図書館が行う。ただ専用の部屋がないため研修室で行うので、部屋の調整とボランティアの方のご都合を伺う必要がある。今年度は月に数回、2 人のボランティアの方に交代で行っていただいた。専門的な本の場合、ボランティアの方も事前に目を通しておく必要があるので、どんな資料をご希望かも伺いたい。

委員：希望があれば、図書館に連絡すればいいのか。

事務局：はい。まず、ご相談させていただきたい。

委員：今年度、いらなくなった本をいただけるというご案内をいただいた。おそらくどの学校も予算の都合上、本を購入するのに頭を悩ませていると思う。遠方のため本をもらいに来た時には、もう残り少なくなっていたが、ただで大変ありがたかった。資料の収集状況について記載されているページがあるが、ここでは廃棄ではなく再用になるのか。

事務局：資料の収集状況は、1 月末の数字を記載している。3 月末頃に巡回文庫の廃棄を行い、それがあがる程度冊数がまとまれば、再利用していただきたいということでご案内している。

委員：今まで知らなかった。今年度が初めてではないのか。

事務局：2 年に 1 回行っている。県内の教育委員会に対して、市・町内の公民館や学校、図書館にお声掛けくださいとご案内している。

委員：蔵書冊数は、他県と比べてこの冊数はどうなのか。それと県立図書館を身近に感じてもらうために行われている催しの情報提供は、どのような手段をとられているのか。

事務局：まず蔵書冊数だが、2015 年の日本の図書館という統計資料があるが、そこでは、香川県は 936,385 冊で 21 位である。

委員：順位は、だいたい真ん中ぐらいか。

事務局：そうだ。広報についてだが、例えばこども読書まつりは、HPに掲載したり、館内でチラシを配布するほか、近隣の幼稚園、公民館、市・町立図書館などにも配布している。マスコミへの資料提供もしている。

(3) その他

1) 防災設備改修工事終了に伴う通常開館等について

- ・事務局より説明
- ・承認
- ・質疑については、下記の通り

委員：大平元首相の貴重な資料を相互貸借で活用させていただきたいと思う。館内閲覧のみということだが、館内コピーは県立図書館では利用可としているのか。借用してもコピーできるのか。

事務局：資料の状態により個々に判断する場合があると思うが、基本的には著作権の範囲内で可能である。資料の状態によっては、貸出時にご相談させていただく。

2) 「新・せとうち田園都市創造計画」及び「新教育基本計画（案）」について

- ・事務局より説明
- ・承認
- ・質疑については、下記の通り

委員：県民一人当たりの貸出冊数は、全国と比べてどうなのか。

事務局：当館の一人当たりの貸出冊数は多い。2015年の「日本の図書館」の中に人口1,000人当たりの個人貸出冊数を調べたものがある。香川県は1,000人当たり884冊で、2位になる。全国に比べると高い水準にある。

3. 閉会